

☀️ Pick up! 発信活動 ☀️

子どもの声を聴き
すべての子どものウェルビーイングを共に考える
ミニシンポジウムを行いました。



子どもを取り巻く社会課題の発信にも力を入れた2022年度。
子ども支援の「今」をとらえながら、
多職種の方と学びあう場となりました。

当財団では、子どもの課題に関心を持ち、関わる大人を増やすことも、大事な活動の一つと位置付け、子どもを取り巻く社会問題を発信し、解決策を共に考えることを目指したミニシンポジウム「ベネッセ子ども基金 MeetUp」を行っています。

2022年度は2回にわたって「子どもの権利」をベースに子どもの声を聴く重要性和、これからの子ども支援のあり方を考える会をオンラインで行い、全国から多職種の方にご参加いただきました。近

年「子どもの権利」という言葉や「子どもの声を聴く」というフレーズをよく耳にするようになりました。また、こども基本法も成立し、子どもの権利の精神に基づいた政策が推進されはじめています。

「子どもたちが自らの可能性を広げられる社会」の実現を目指す私たちベネッセ子ども基金も、子どもの最善の利益を考え、子ども視点で成長を後押しできる社会づくりの一助となるよう、引き続き活動してまいります。

☀️ MeetUp 2022 #1 ☀️

子どもの声を聴くってどういうこと？
子どもの権利と子どもアドボカシー

(2022年11月19日)

子どもの権利の専門家から、なぜ子どもの権利を保障するべきなのか、また子どもの声を聴く活動（子どもアドボカシー）の実践者から、自治体や海外の子どもの声を聴く先進事例、そして当事者の声や子どもの声を聴く実践例をお話いただきました。非常に多くのお申し込みをいただき、社会の関心の高さがうかがえました。



参加者の声

子どもの声を聴くことや子どもの権利は漠然とは把握していましたが、「子どもの声を聴くこと」についての大切さと、現状を知ることができ、自分に何ができるのか考えるきっかけになりました。

実際にアドボケイトとして活動されている方々のお話は、とても説得力があり、また当事者の声を聞く機会が今までほとんどなかったので多くの知見が得られた。

参加者数:

リアルタイム約130名+アーカイブ視聴466回*

登壇者(団体)名:

- 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 西崎萌氏
- 一般社団法人子どもの声からはじめよう 渡辺清美氏
- 一般社団法人子どもの声からはじめよう なおと氏

MeetUp2022
#1の様子



☀️ MeetUp 2022 #2 ☀️

これからの子ども支援のあり方とは
—— こども基本法・こども家庭庁の動きから ——

(2023年2月4日)

こども基本法の成立、こども家庭庁の発足という、こども政策の大きな動きの中心でいらっしゃる方にご登壇いただき、報道などでは捉え切れない政策の背景課題や経緯、そして子ども支援に携わる者の今後のあり方についてお話いただき、視聴者を交えた活発な対話が繰り広げられました。



参加者の声

国や行政の動きは追っているが、文字だけではわからないことが多く、背景にある考えや一歩踏み込んだ話を行政の中心にいる方と現場を見ている方両方から聞けて、質問もできよかった。

こども家庭庁の仕組みを理解でき、また困難を抱える子どもたちを支える団体との連携など自治体として何をすべきか、大変参考になった。

参加者数:

リアルタイム約130名+アーカイブ視聴250回※

登壇者(団体)名:

- 参議院議員・小児科専門医・認定内科医 自見はなこ氏
- 認定特定非営利活動法人 Learning for All 代表理事 李炯植氏

MeetUp2022
#2の様子

